※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

V □ 1.1		100)	05/5/		· /ccv · · · · · ·					
会計	† #	次	項		事業コード	事業名				
—舟	殳 1	0	01	02	104030	児童・生徒表彰事業				
総合計画	画 成末 3-2 子校教育の元美 施策 2 豊かな人間性の育成									
目的	知・徳・休のバランスの取れた旧音生徒の斉成に表与するため、休春・文化等の活動に									
対象										
意図	・学校生活における意識・意欲を高める ・各種大会やコンクール、伝承活動への積極的な取り組みを推進する									
事業	事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること									
	5 44	14 H	· 告标 L							

○児童・生徒栄誉賞授与

児童生徒の体育・文化等の対外的活動において、花巻市の教育向上に資する顕著な成果を収めた個人・団体に、その栄誉をたたえることを目的に児童・生徒栄誉賞授与式を実施

【平成29年度実施】

・期日 平成30年2月7日(水) インフルエンザのため各学校で表彰を実施

【平成28年度実施】

・期日 平成29年2月8日(水) インフルエンザのため各学校で表彰を実施

【平成27年度実施】

・期日 平成28年2月5日(金) 会場 花巻市文化会館大ホール 受賞者数 24団体(184人)、個人240人

	市民参画の有	無	()	
	市民協働の形態		共催			実行委	員会・協議会	会	事業協力・	協定	
	「口区励働のから	弘	後援・協賛			補助・」	助成		委託		
	活動指標(上	:記「事業	「機要」に対応)		単位	区分	28年度(実	績)	29年度(実績)	30年度(計画)	
(1)	学校数			校	計画	(30	30			
(I)	子仪奴			1.		実績		30	30		
2	花巻市内児	ЖҺ	人		計画	7, 48	85	7, 295			
(2)	化仓川内元	里工ル	. 女义		^	実績	7, 4	79	7, 305		
(3)						計画					
(3)						実績					
	成果指標(上	:記「意図	図」に対応)		単位	区分	28年度(実	績)	29年度(実績)	30年度(計画)	
(1)	児童生徒栄養	类世교	堂老粉	人		目標	400 339		400		
(I)	九里工促木,	三貝又	貝日奴	_ ^		実績			363		
2						目標					
(2)						実績					
(3)						目標	•		•		
(3)						実績					
	成果指標 の達成度 目標値より高い		票値より高い	0	概ね目標値どおり				目標値より低い		

成果指標の達成度の要因分析

(新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)

平成26年度より団体表象において、その団体に所属する児童生徒全てを表彰対象としていたが、団体のみへの表彰としたことから、受賞者数は減少傾向にある。

B	公	共関与の妥当性	市内全ての児童生徒を対象とした表象という点で類似事業は						
的妥	0	妥当である	なく、スポーツ及び文化の分野で優秀な成績を収めた者が集まり表彰を受けることは、互いの切磋琢磨の向上に寄与するとこ						
女当		見直し余地がある							
性		妥当でない	ろが大きく、他に代替するものはない。						
有	成	果の向上余地	児童生徒数、クラブやチーム数が減少していく中で、地域の						
効	0	向上余地がある	□伝統芸能の継承活動など特色ある活動を持続・推進していく後						
性		向上余地がない	『しとなることが肝要である。						
1									
効	事	業費・人件費の削減余地	賞状及び受賞者名簿の印刷、バスの借上料が主な経費である						
率		事業費の削減余地がある	ため、事業費の削減余地はなく、審査や表彰で個人情報を取り						
性		人件費の削減余地がある	□扱うため、委託には馴染まない性格があり、最小限の直営人経□費で行っている。						
	\circ	どちらも削減余地がない	負 [1] の にいる。						
	受	益と負担の適正化余地	花巻市内の全児童生徒を対象に、同一基準で選考しているた						
公平		受益機会の見直し余地がある	め公平である。						
性		費用負担の見直し余地がある							
'-	0	適正である							

総合評価 …上記評価結果の総括

表彰を受ける児童生徒が一堂に会することで、優れた成績に互いに刺激を受け、さらに飛躍する気持ちを高めることが出来ること、受賞しなかった児童生徒が自分も受賞したいと思うことで向上心の動機づけとなることから、今後も継続して実施する必要がある。

【 事後評価 ...

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください

会計	款	項	8	* 7	事業名	
一般	10	01	02	104030	児童·生徒表彰事業	

単位:千円

		28年度 決算額(A)	29年度 決算額(B)	30年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		536	525		△ 11
	国・県				
財源	地方債				
内訳	その他				
	一般財源	536	525		△ 11

※特定財源の内訳

 事業期間
 単年度繰返
 ○
 期間限定
 〔平成
 年度
 ~ 平成
 年度〕

部重点施策における目標

豊かな人間性を育む

事業開始の背景・経緯

各学校において各種大会やコンクール、伝統芸能への積極的な取り組みを行っていたが、その活動等において顕著な成果を収めた児童生徒を表彰し、意欲を高めるため、昭和60年度より事業を実施した。

事業概要

○児童・生徒栄誉賞授与

児童生徒の体育・文化等の対外的活動において、花巻市の教育向上に資する顕著な成果を収めた個人・団体に、その栄誉をたたえることを目的に児童・生徒栄誉賞授与式を実施

【平成29年度実施】

・期日 平成30年2月7日(水) インフルエンザのため各学校で表彰を実施

【平成28年度実施】

・期日 平成29年2月8日(水) インフルエンザのため各学校で表彰を実施

【平成27年度実施】

・期日 平成28年2月5日(金) 会場 花巻市文化会館大ホール 受賞者数 24団体(184人)、個人240人

意見・要望等の状況(市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等)

子どもたちが各種活動へ取り組む動機づけとして有効であり、成功体験の機会としても貴重なことから、今後もぜひ継続してほしいという学校・家庭・地域からの要望がある。

担当部署 部名 教育部

課名 学校教育課

担当係長 佐々木 祐子 内線 9-30-361

(単位:千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。 【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

~児童生徒栄誉賞表彰式~

- 花巻市文化会館で開催
- ・当該年度において文化やスポーツの分野で優秀な成績を収めた児童生徒を表彰

受賞しなかった児童生徒が、 『自分も受賞したい』と思うこと により、向上心の動機づけと なる。

【表彰基準(抜粋)】

- 体育的分野及び文化的分野
 - ア 岩手県、東北又は全国的規模の公的な競技大会において優秀な成績を収めたもの (全国規模第8位以内、東北規模第3位以内、岩手県規模第1位以内または県記録更新)
 - イ アに準じる顕著な成績を収めたもの
 - (市中学校陸上競技大会記録更新など)
 - ウ その他、学校長が優秀と認めて推薦したもの
- 善行・努力的分野
 - ア 地道な努力を継続して実践し、他の模範となる活動を行ったもの (伝統芸能継承活動、早起きマラソン6年間及び9年間皆勤賞)
 - イ その他、学校長が優秀と認めて推薦したもの

【事業費の内訳】

11節 消耗品費 95千円

事務用消耗品

印刷製本費 430千円

・賞状 400枚

・名簿 700冊

修繕料
・看板修繕料

14節 自動車借上料 0千

・バス借上料

0千円

0千円

児童・生徒表彰事業 事業説明資料

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

<u>∨ □ 1</u>	<u> </u>											
会計	†	款	項		事業コード	事業名						
一般	克	10	01	03	104050	生徒会ボランティア活動支援事業						
分野 人づくり 総合 政策 3-2 学校教育の充実 11 12 13 14 15 15 15 15 15 15 15												
ā1 🕮	施急	施策 2 豊かな人間性の育成										
目的	市内中学生の社会参画意識を育成するため、生徒会によるボランティア活動を支援する。											
対象	ボラ	ンティ	ィア活動	助をする	5中学生生徒							
意図	意図 社会の一員として、よりよいまちづくりに参画する市民に育つ。											
事業	概要	…上記	2目的を	実現する	ための事業手法	を記載すること						
○生徒	○生徒会ボランティア活動支援											

ボランティア活動(学校内外、公民館等の清掃・除雪活動、交流活動、環境美化活動等)を 行う各中学校生徒会への活動支援

	市民参画の有無	[対象外)	
	市民協働の形態	共催			実行委	員会・協議会	会	事業協力・	協定	
	中氏励働の形態	後援・協賛		0	補助・	助成		委託		
	活動指標(上記「耳	事業概要」に対応)	1	単位	区分	28年度(実	績)	29年度(実績)	30年度(計画)	
(1)	ボランティア活	動に取組む生徒		校	計画		11	11		
(1)	会		TX		実績		11	11		
2	ボランティア活	新·米/r	江	動数	計画		15	22		
(2)	ハフンティア酒	到	冶	IJ奴	実績		26	36		
(3)					計画					
(3)					実績					
	成果指標(上記「意	意図」に対応)	į	単位	区分	28年度(実	績)	29年度(実績)	30年度(計画)	
(1)	ボランティア活	動をした生徒の	%		目標	100	. 0	100.0		
(1)	割合			70	実績	90	. 0	100.0		
2					目標					
(2)					実績					
(3)					目標					
(3)	/				実績					
	成果指標 の達成度 目標値より高い		0	概	概ね目標値どおり			目標値より低い		

成果指標の達成度の要因分析

(新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)

- ○市内すべての中学校において実施するものであり、これまで1校2事業は最低限実施されて いる実績に基づき活動数を設定した。
- 不登校生徒は存在するものの、全生徒が参加することを目指すべきであると考え、成果指標を設定した。

月		井田上の立と林	ナロカエッチェックルチルフォンフェル 上半片印刷ングッネ					
	公	共関与の妥当性	市民参画のまちづくりを進めるためには、中学校段階からの意					
的妥	\circ	妥当である	識を高めることが大切である。					
当		見直し余地がある						
性		妥当でない						
_	成	果の向上余地	年度を重ねるたびに、前年度の反省を生かした取組が期待でき					
有効	\circ	向上余地がある	వ _ం					
性		向上余地がない						
'-	$\overline{\ }$							
÷.b	事	業費・人件費の削減余地	事業を実施するうえでの最小の経費を見込んでおり、これ以上 の削減は困難である。また、人件費は経費に見込んでいない。					
効率		事業費の削減余地がある						
性		人件費の削減余地がある						
'-	0	どちらも削減余地がない						
	受	益と負担の適正化余地	中学生がボランティア活動に取組み、地域へ貢献することは公					
公平		受益機会の見直し余地がある	共性が高く、市が負担することは適正である。					
性		費用負担の見直し余地がある						
1 '∸	\bigcirc	適正である						

総合評価 …上記評価結果の総括

○中学生が地域のボランティア活動に取組み、地域の方々と交流したり、活動によって感謝されることは、社会の一員として、よりよいまちづくりに参加する態度を育てるために大変有効である。

○平成30年度からは補助金交付ではなく、各学校で必要な物品が調達できるように事業を組み替え、「キャリア学習支援事業」の中で中学生のボランティア活動を支援していく。

【 事後評価

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

7.		- / / •/	, , ,	, 12 2 1 0 0110							
会計	款	項		事業コード	事業名						
一般	10	01	03	104050	生徒会ボランティア活動支援事業						

単位:千円

		28年度 決算額(A)	29年度 決算額(B)	30年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
	事業費	480	220		△ 260
	国・県				
財源	地方債				
内訳	その他				
	一般財源	480	220		△ 260

※特定財源の内訳

事業期間 (単年度繰返 期間限定 「平成 年度 ~ 平成 年度〕

部重点施策における目標

豊かな人間性の育成

事業開始の背景・経緯

中学生議会において各学校生徒会が行うボランティア活動への支援について要望があり、生徒 の自主性と社会参画を育成することから、平成22年度よりこの事業を開始した。

事業概要

○生徒会ボランティア活動支援

ボランティア活動(学校内外、公民館等の清掃・除雪活動、交流活動、環境美化活動等)を 行う各中学校生徒会への活動支援

意見・要望等の状況(市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等)

教育部 **担当係長 佐々木 祐子 内線 9-30-361** 担当部署 部名 学校教育課 (単位:千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。 【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】



生徒会ボランティア事業交付金 220千円

H29年度の主な活動内容等

- ○清掃ボランティア(学校周辺、高齢者住宅、公民館等)
- ○除雪ボランティア (学校周辺、高齢者住宅、公民館等) 4 校
- ○交流ボランティア(福祉施設、支援学校、敬老会、被災地等)9 校
- ○花壇整備ボランティア(花苗植樹、水やり、プランター整備)5 校 3 校
- ○募金ボランティア
- ○地区行事運営ボランティア(運動会、花火大会)
- 2 校 1 校
- ○書き損じハガキ回収ボランティア
- ○図書館読み聞かせボランティア 1 校

事業費の主な充当先

- ○作業に使用する備品の購入(清掃用具、除雪用具)
- ○消耗品の購入(洗剤、ごみ袋、用紙、トナー等)
- ○花壇整備に使用する材料代(土、腐葉土、苗、プランター)

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

√•/ □ 1.1											
会計	款	Ì	頁	事業コート		事業名					
一般	ት 10	10 01		03	104090	復興教育学校支援事業					
<i>***</i>	分野 人づくり										
総合計画	政策 3-2 学校教育の充実										
1 6	施策	10/11									
目的	東日本大震災からの復興・発展を支える児童生徒を育成するための復興教育実施校に対して支援を行い、今後の「いわての復興教育」の充実を図る。										
対象											
意図	希望と勇気を持って前に進む「生きる力」を育む										
事業権	既要	二記目台	りを写	実現する	ための事業手法	きを記載すること					

- ○復興教育学校支援
 - ・被災地訪問により復興の状況を知る体験学習 小学校 3校、中学校 9校

	市民参画の有無	# [対象外)	
	市民協働の形態	13	共催			実行委員	員会・協議会	숨	事業協力・	協定	
	TPC 励働UJIVを	33	後援・協賛			補助・」	助成		委託		
	活動指標(上語	記「事業権	既要」に対応)		単位	区分	28年度(実	績)	29年度(実績)	30年度(計画)	
(1)	1校当たりの	心のサ	ポート授業の			計画		3	3		
(1)	実施回数			쁘		実績		1	0. 6		
(2)	1校当たりの	キャリ	ア教育授業の		□	計画		3	3		
(2)	実施回数				ш	実績		12	3. 5		
(3)			•			計画					
0						実績					
	成果指標(上語	記「意図」	に対応)		単位	区分	28年度(実	績)	29年度(実績)	30年度(計画)	
(1)	友達にやさし	くして	いると答え	%		目標	96.	. 0	96. 0		
(1)	た児童の割合				70	実績	96.	. 5	96. 7		
(2)	対理に対して 動をしている				%	目標	93.	. 0	93. 0		
(2)	割をしている	いて合え	./こエルの剖		/0	実績	94.	9	95. 4		
(3)						目標					
(3)						実績					
	成果指標 の達成度 目標値より高い			0	概ね目標値どおり				目標値より低い		

成果指標の達成度の要因分析

(新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)

平成24年度の成果指標の「友達にやさしくしていると答えた割合」の目標値及び実績値は、当時事業を実施していた宮野目小学校のみの値である。しかしながら、現在においては市内各小中学校にて復興教育が取り組まれていることから、範囲を拡大する必要があるため、平成25年度以降の成果指標については、中学校の「友達に対して思いやりのある言動をしていると答えた生徒の割合」を追加し、目標値及び実績値は市内全小中学校の値とすることとした。(ともに「花巻市総合計画に係るアンケート」の項目)

また、成果指標の変更に合わせ、活動指標についても「1校当たりの心のサポート授業の実施回数」及び「1校当たりのキャリア教育授業の実施回数」とすることとした。

B	公共関与の妥当性	花巻市の将来を支える「人づくり」を支援していくことは妥当				
的妥	○ 妥当である	である。				
当	見直し余地がある					
性	妥当でない					
_	成果の向上余地	取組成果を蓄積し共有することにより、更なる相乗効果が期待				
有効	○ 向上余地がある	できる。				
性	向上余地がない					
'-						
άħ	事業費・人件費の削減余地	今まで経験したことがない大震災に係る教育であることから、				
効率	事業費の削減余地がある	専門家の招聘は現時点で欠かせない。				
性	人件費の削減余地がある					
1-	○ どちらも削減余地がない					
/\	受益と負担の適正化余地	実施校の取組成果が他校に普及することから、受益機会は均等				
公	受益機会の見直し余地がある	である。				
性	費用負担の見直し余地がある					
1-	○適正である					

総合評価 …上記評価結果の総括

震災と向き合うことで、児童生徒一人一人が、自分を見つめ直し、命の大切さを実感するとともに、自分自身が地域や社会との関わりの中で生きていることを学ぶことができる。 平成30年度からは、キャリア学習支援事業の中で継続して取り組んでいく。

【 事後評価

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項		事業コード	事業名]
一般	10	01	03	104090	復興教育学校支援事業	

単位: 千円

		28年度 決算額(A)	29年度 決算額(B)	30年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
	事業費	641	637		△ 4
	国・県				
財源	地方債				
内訳	その他				
	一般財源	641	637		△ 4

※特定財	指の内部

事業期間	\circ	単年度繰返	期間限定	〔平成	年度	\sim	平成	年度〕
部重点施策	にお	ける目標						

豊かな人間性を育む

_____ 事業開始の背景・経緯

復興教育の重要性が高まり、継続して取り組むことが求められていたため。

事業概要

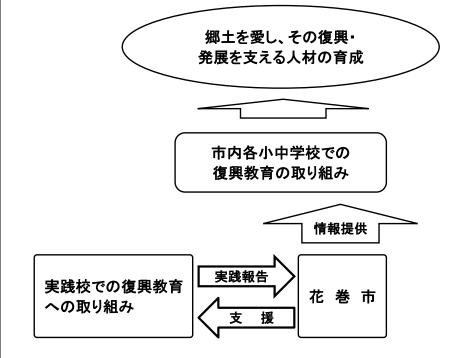
○復興教育学校支援

・被災地訪問により復興の状況を知る体験学習 小学校 3校、中学校 9校

意見・要望等の状況(市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等)

担当部署 部名 教育部 課名 学校教育課 担当係長 佐々木 祐子 内線 9-30-361 (単位:千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。 【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】



復興教育学校支援事業

○中型及び大型バス借上料等 小学校3校、中学校9校 637 千円

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計		款	項		事業コード	事業名			
一般		10	10 02 02 104210 小学校地域体験		104210	小学校地域体験型学習事業			
4W.	分:	野人	づくり						
総合計画	政:	政策 3-2 学校教育の充実							
9	施	施策 2 豊かな人間性の育成							
目的	Γ₫	Eきるフ	カ」をす	育む					
対象	市内の小学生								
意図	地域社会の資源を活用した体験を通した学習ができる。								

事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること

○地域体験型学習

総合的な学習の時間を使って、地域の風土・資源・伝統・人材を活用した体験的な学習を実施することにより、子供たちの自ら考え、自ら学ぶ、生きる力を養う。

水稲や野菜・りんご・ぶどう等の栽培体験/博物館や消防署・清掃センター等公共施設の見学/地域のお年寄りとのふれあい/花巻ばやしや田植え踊り・神楽などの伝承芸能の体験と学習/河川の水質検査/動植物の自然観察/郷土の歴史研究 等

	市民参画の有無	()
	市民協働の形態	共催			実行委	員会・協議会	/년	事業協力・	協定
	いス励圏のが窓	後援・協賛			補助・	助成		委託	
	活動指標(上記	「事業概要」に対応)		単位	区分	28年度(実)	績)	29年度(実績)	30年度(計画)
(1)	取り組み学校	11.41.7.1 台北米		校	計画		19	19	
1	以り祖の子似	奴		TX	実績		19	19	
2					計画				
(2)					実績				
(3)					計画				
0					実績				
	成果指標 (上記	「意図」に対応)		単位	区分	28年度(実	績)	29年度(実績)	30年度(計画)
(1)	体験学習に参	加した旧帝粉	した旧帝物		目標	10, 10	00	10, 100	
(I)	本級子白 二多。	加した元里奴		人	実績	11, 3	10	11, 066	
2					目標				
(2)					実績				
(3)					目標				
(3)					実績				
	成果指標 の達成度 目標値より高い			概	ね目標値	直どおり		目標値。	より低い

成果指標の達成度の要因分析

(新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)

H29年度は市内全小学校で事業が実施された。

各学校で地域の特性を生かした体験学習に取り組み、計画を上回る参加人数となった。

目	公共関与の妥当性	学校教育法第5条により、学校設置者による負担を義務づけられ					
的妥	○ 妥当である	た義務教育費であることから、花巻市による関与は妥当であ					
当	見直し余地がある	వ్.					
性	妥当でない						
_	成果の向上余地	各校において独自の創意工夫により計画・実施しているとこ					
有効	○ 向上余地がある	ろであり、量的な取り組み状況としては一定の成果をあげてい					
性	向上余地がない	るところだが、他校の事例を参考にする等により質の向上を図					
1-		ることが可能である。					
÷+	事業費・人件費の削減余地	事業内容を見直し、26年度からバス代3割の削減をしており、					
効率	事業費の削減余地がある	保護者負担増回避のためこれ以上の削減は難しい。					
性	人件費の削減余地がある	また、学校の授業であることから、教員の関与が必ず必要で					
1-	○ どちらも削減余地がない	- あるため、アウトソーシングによる人件費の削減には馴染まな					
\sim	受益と負担の適正化余地	市内の全小中学校において取り組まれている事業であり、受					
公平	受益機会の見直し余地がある	益機会は適正である。					
性	費用負担の見直し余地がある	また、義務教育学校における教育課程実施上の必要経費であ					
'-	○適正である	- り、学校設置者が負担すべき経費であることから、費用負担も 適正である					

総合評価 …上記評価結果の総括

地域の風土・資源・伝統・人材を活用した体験的な学習を通し、花巻に根ざした人材育成を行うため、継続の必要がある。

H30年度からはキャリア学習支援事業として復興教育学校支援と一体的に取り組み、児童の生きる力、豊かな人間性の醸成を図る。

【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください

1110		- // -/	,	, , , , , , , , ,	- 10
会計	款	項		事業コード	事業名
一般	10	02	02	104210	小学校地域体験型学習事業

単位: 千円

		28年度 決算額(A)	29年度 決算額(B)	30年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
	事業費	3, 866	3, 856		△ 10
	国・県				
財源	地方債	900	800		△ 100
内訳	その他				
	一般財源	2, 966	3, 056		90

※特定財源の内訳

過疎債(大迫地区、東和地区の学校で実施する分)

 事業期間
 ○
 単年度繰返
 期間限定
 〔平成
 年度
 ~
 平成
 年度〕

部重点施策における目標

豊かな人間性を育む

事業開始の背景・経緯

子どもたちの豊かな人間性や社会性などを育むため、平成14年度より文部科学省がモデル事業「豊かな体験活動推進事業」の実施により、小・中・高等学校における体験活動の普及・定着を図ってきたもの。当市においては平成23年度より「地域体験型学習事業」と改称。

事業概要

○地域体験型学習

総合的な学習の時間を使って、地域の風土・資源・伝統・人材を活用した体験的な学習を実施することにより、子供たちの自ら考え、自ら学ぶ、生きる力を養う。

水稲や野菜・りんご・ぶどう等の栽培体験/博物館や消防署・清掃センター等公共施設の見学/地域のお年寄りとのふれあい/花巻ばやしや田植え踊り・神楽などの伝承芸能の体験と学習/河川の水質検査/動植物の自然観察/郷土の歴史研究 等

意見・要望等の状況(市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等)

学校現場から自動車借上げ料が不足し、保護者から徴収せざるを得ない等不自由しているという声がある。

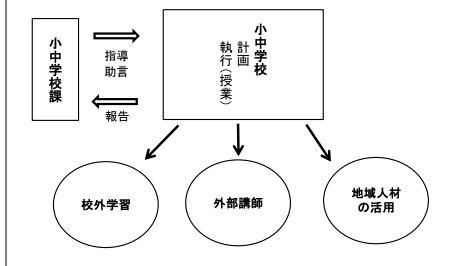
担当部署 部名 教育部

課名 学校教育課

担当係長 佐々木 祐子 内線 9-30-361

(単位:千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。 【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】



8節 報償費 570,000円 (講師謝礼、体験学習用地借用謝礼)

11節 消耗品費 413, 184円 (材料代等)

14節 賃借料 2,872,679円 (バス借上料、農機具借上料)

合計 3,855,863円

2

3

成果指標

の達成度

目標値より高い

平成 29 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

	会計	款	項		事業]	- *		=	事業名	
-	一般	10	03	02	1042	260	中学校地	!域体験型学習	事業	
4//	△ 分	野人	づくり	n						
総計	画 以			学校教育						
	施策 2 豊かな人間性の育成									
B	的「生	生きる	力」を	を育む						
対	象「	市内の	中学生	Ė						
意	w t	也域社	会の資	資源を活り	用した体	験を追	通した学習	ができる。		
事	業概要	…上	記目的	を実現する	るための事	業手法	を記載する	iこと		
\bigcirc ‡	也域体駅	6型学	習							
								伝統・人材を注		りな学習を実
								生きる力を養		/ att v4. A
万	き 美 14 8	夾/ 悀	仙 旭 龍	文や民間分	正兼寺で	の戦場	引 中 映 / 野	外活動/ボラン	ンプイプ1年験/	7 再供会
	市民参	面の有無	Ħ	ſ						1
				共催			実行委	員会・協議会	事業協力・	協定
	市民協働	動の形態		後援・	協賛		補助・		委託	<i>0077</i> C
	活動指標	票(上	記「事業	長概要」に対	付応)	単位	区分	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
1	To 1140	7. 24.1	÷ *-			++	計画	11	11	
1	取り組	か子だ	父致			校	実績	11	11	
(2)							計画			
(2)	<u>ව</u>						実績			
2							計画			
3							実績			
	成果指標	票(上	記「意図	図」に対応)		単位	区分	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
(1)	体除学	32 I - 4	÷ 1n 1	た生徒数	,	人	目標	5, 600	5, 600	
(I)	14 岁 子	日に多	グルルし	/ 工化数	į,		rt+ (ctr	E 0E1	E 400	

実績

目標

実績 目標

実績

概ね目標値どおり

5. 251

5. 408

目標値より低い

成果指標の達成度の要因	分析
水木1H1示り 手以内り 女	177171

(新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)

H29年度は市内全中学校で事業が実施された。

各学校で地域の特性を生かした体験学習に取り組み、計画は下回ったが、H28年度を上回る 参加人数となった。

:	公共関与の妥当性	学校教育法第5条により、学校設置者による負担を義務づけられ				
的妥	○ 妥当である	た義務教育費であることから、花巻市による関与は妥当であ				
当	見直し余地がある	ేం.				
性	妥当でない					
_	成果の向上余地	各校において独自の創意工夫により計画・実施しているとこ				
有効	○ 向上余地がある	ろであり、量的な取り組み状況としては一定の成果をあげてい				
性	向上余地がない	るところだが、他校の事例を参考にする等により質の向上を図				
'-		ることが可能である。				
☆ ħ	事業費・人件費の削減余地	事業内容を見直し、26年度からバス代3割の削減をしており、				
効率	事業費の削減余地がある	保護者負担増回避のためこれ以上の削減は難しい。				
性	人件費の削減余地がある	また、学校の授業であることから、教員の関与が必ず必要で				
1-	○ どちらも削減余地がない	あるため、アウトソーシングによる人件費の削減には馴染まな				
公	受益と負担の適正化余地	市内の全中学校において取り組まれている事業であり、受益				
平	受益機会の見直し余地がある	機会は適正である。				
性	費用負担の見直し余地がある	また、義務教育学校における教育課程実施上の必要経費であ り、学校設置者が負担すべき経費であることから、費用負担も				
11	○適正である	り、子仪取但有が見担りへき経賃でめることがり、賃用負担も高正でなる				
) A					

総合評価 …上記評価結果の総括

地域の風土・資源・伝統・人材を活用した体験的な学習を通し、花巻に根ざした人材育成を行 うため、継続の必要がある。

H30年度からはキャリア学習支援事業として復興教育学校支援・生徒会ボランティア活動支援 と一体的に取り組み、生徒の生きる力、自ら考え、学ぶ力、豊かな人間性の醸成を図る。

【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	B	事業コード	事業名
一般	10	03	02	104260	中学校地域体験型学習事業

単位:千円

		28年度 決算額(A)	29年度 決算額(B)	30年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)	
事業費		1, 883	1, 883 2, 040		157	
	国・県					
財源	地方債	400	400			
内訳	その他					
	一般財源	1, 483	1, 640		157	

※特定財源の内訳

過疎債 (大迫地区、東和地区の学校で実施する分)

 事業期間 ○ 単年度繰返 期間限定
 単年度繰返 年度
 年度
 平成
 年度

部重点施策における目標

豊かな人間性を育む

事業開始の背景・経緯

子どもたちの豊かな人間性や社会性などを育むため、平成14年度より文部科学省がモデル事業「豊かな体験活動推進事業」の実施により、小・中・高等学校における体験活動の普及・定着を図ってきたもの。当市においては平成23年度より「地域体験型学習事業」と改称。

事業概要

○地域体験型学習

総合的な学習の時間を使って、地域の風土・資源・伝統・人材を活用した体験的な学習を実施することにより、子供たちの自ら考え、自ら学ぶ、生きる力を養う。

農業体験/福祉施設や民間企業等での職場体験/野外活動/ボランティア体験/講演会

意見・要望等の状況(市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等)

学校現場から自動車借上げ料が不足し、保護者から徴収せざるを得ない等不自由しているという声がある。

担当部署 部名 教育部

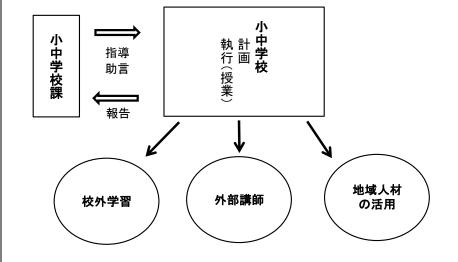
課名 学校教育課

担当係長 佐々木 祐子 内線 9-30-361

(単位:千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。

【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】



8節 報償費 254,402円 (講師謝礼)

11節 消耗品費 164,763円 (材料代等)

13節 委託料 60,000円 (大迫中ワインづくり体験学習指導業務委託)

14節 賃借料 1,561,280円 (バス借上料)

合計 2,040,445円

会計 款 項 目 事業コード

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

事業名

一般 10 03 02 104820 中学校伝統文化教育実践事業												
	重点	戦略 人	口減少	対策			I.					
総合	分	分野 人づくり										
計画	政	政策 3-2 学校教育の充実										
	施	策 :	2 豊 2	かな人間	性の育	育成						
目的	地垣	はに誇!	りを持ち	ち、主体	的に出	地域に関	引わ	ってい	く生徒の育	成		
対象	大证	自中学	校の生	徒								
意図	大证	色の地	域素材	を各教	科の授	業に取	対り	入れ、	地域や教和	斗の	知識・理解を	深める。
				実現する					こと			
見	○大迫中学校における伝統文化教育の研究 303千円 見学や調査など、体験を通じた特別活動の実施 大迫の地域素材を取り入れた授業の実施											
				共催			1	宝行禾!	昌今,按議/	~	事業協力・	执 党
市	民協働	の形態		後援・協	立替			実行委員会・協議会 補助・助成		7	委託	
活	動指標	医 (上部	1「事業根		* - 1	単位	r ·	区分	28年度(実	唐)	29年度(実績)	30年度(計画)
			1 T / N / P	(Z)(C/)/	, L. ,		_	計画	20 20 (20)	-	1	00 及(田西)
① 研	究指	定校				校		実績		_	1	
								計画				
2								実績				
								計画				
3								実績				
成	果指標	[(上記	『意図』	に対応)		単位	<u>.</u>	区分	28年度(実	漬)	29年度(実績)	30年度(計画)
白				る、どちら	かとい	0/		目標		-	75. 0	
			た生徒の			%		実績		-	76. 0	
								目標				
2								実績				
(a)								目標				_
3								実績				
成果!			目標的	直より高し	۸,	0	概	ね目標値	直どおり		目標値。	より低い

	の要因分析

(新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)

【成果指標の根拠

岩手県学習定着度状況調査(中2)での大迫中の回答割合を成果指標とする。 地域の資源と良さを再認識するとともに、自己有用感・自己肯定感を高め、主体的に地域に関わっていく生徒の割合を図るための指標を設定した。

目	公	共関与の妥当性	学校が指定を受けて取り組む実践研究であり、国・県との連絡
的妥	\circ	妥当である	調整も必要のため設置者である市の関与は妥当である。
当		見直し余地がある	
性		妥当でない	
_	成	果の向上余地	H29年度の成果を踏まえ、H30年度は生徒の思考力や表現力を伸
有効	0	向上余地がある	ばす取り組みへ展開を図ることにより、成果の向上余地があ
性		向上余地がない	ై ప్
11	$\overline{\ }$		
	事	業費・人件費の削減余地	事業費は事業推進のために必要最小限であり、人件費は県や国
効率		事業費の削減余地がある	との書類のやり取りに必要な時間数のため削減余地はない。
性		人件費の削減余地がある	
11	0	どちらも削減余地がない	
	受	益と負担の適正化余地	事業の成果は報告書にまとめられ、市内中学校へ情報提供され
公平		受益機会の見直し余地がある	ることから受益の機会は均等である。
性		費用負担の見直し余地がある	
'-	0	適正である	

総合評価 …上記評価結果の総括

【 事後評価

※毎付きのセルのみ入力してください。また。行・列の挿入や削除け絶対に行わないでください。

V•V □ 11 C .	/ _/• •	~ · / · / · /	, , ,	, , , , , , , , , , , , ,		-
会計	款	項	B	事業コード	事業名	
一般	10	03	02		中学校伝統文化教育実践事業	

単位: 千円

					十四・111
		28年度 決算額(A)	29年度 決算額(B)	30年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費			303		303
	国・県				
財源	地方債				
内訳	その他		303		303
	一般財源				

※特定財源の内訳

その他 雑入 国立教育政策研究所教育課程研究センター委嘱金 302,878円

事業期間	単年度繰返	期間限定	〔平成	年度	\sim	平成	年度〕

部重点施策における目標

豊かな人間性の育成

事業開始の背景・経緯

国立教育政策研究所 教育課程研究センターから教育課程研究指定校事業の委嘱を受けたこと に伴い、大迫中学校において伝統文化教育の研究に取り組む

委嘱期間は、H29とH30の2か年度

事業概要 …月的を実現するための事業手法を記載すること

○大迫中学校における伝統文化教育の研究 303千円 見学や調査など、体験を通じた特別活動の実施 大迫の地域素材を取り入れた授業の実施

意見・要望等の状況(市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等)

担当部署 部名 教育部

課名 学校教育課

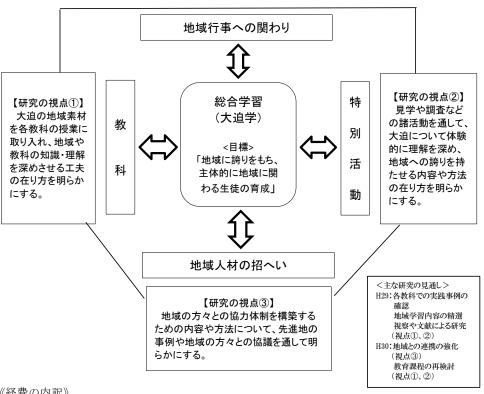
担当係長 佐々木 祐子 内線 9-30-361

(単位:千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。 【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

【大迫中学校における研究課題】

無形文化遺産「早池峰神楽」の里で生きる力を育む 地域を学ぶ・地域から学ぶ「大迫学」



《経費の内訳》

 在	の内訳	//	
科目	(節名称)	金額(千円)	内訳・積算
9	旅費	197	・ 公開研究等参加に係る費用弁償・ 先進地視察に際する費用弁償
1.1	需用費	54	・消耗品費 53,700円(コピー用紙、印刷トナー、封筒、参考図書)
1 1	需用實	40	・印刷製本費 40,176円 (研究成果報告書印刷)
1 2	通信運搬費	12	·研究成果報告書送付代 12,000円

成果指標

の達成度

目標値より高い

平成 29 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

					こ、行・列	の挿入や削除し		ないでくたさ	
会計	款	項		事業コード			事業名		
一般	10	05	01	104400	学校文化	活動事業費			
	0-0 /	づくり			•				
計画	汝策 3−	_ 3	校教育						
Ď	施策 2	2 豊 2	かな人	間性の育成					
目的 芸	術文化活	舌動の5	充実						
対象 文	化活動を	を行うり	尼童生徒	ŧ					
意図 多	くの児童	直生徒 7	が芸術ス	文化活動を行い	ヽ、芸術文	化に親しみを打	特つようになる	る。	
事業概要	更 …上記	日的を	実現する	るための事業手法	を記載する	こと			
○花巻市					1000-977				
○コンク	ール等出	出場補具	助						
市民参	画の有無	(対象外	•)	
市民協	働の形態		共催	11. 11.		員会・協議会	事業協力・	協定	
			後援・		補助・		委託		
活動指	標 (上記	事業機	既要」に対	け応) 単位		28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画	
① 補助作	牛数			件	計画	9 2	9		
					実績計画	2	6		
2					実績				
					計画				
3					実績				
成果指	一 (上記	「意図」	1ヶ井(六)	単位		28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画	
风米相	1 (上記	1. 思凶]	(二刈1心)	- 単位	目標	20年及(美祖)	29年及(美祖)	50平及(計画	
1					実績				
					大 根 目標				
2					実績				
					目標				
3					口伝				

実績

概ね目標値どおり

目標値より低い

	0.48F 0.734M	
目的	公共関与の妥当性	文化活動の充実は、特色ある教育の展開と心の教育の充実に繋 がる。児童生徒の合唱や演劇などへの取り組みを支援すること
妥	○ 妥当である	1
当	見直し余地がある	は、豊かな情操を養うことに資するものであり、市としての関
性	妥当でない	与は必要である。
_	成果の向上余地	日ごろの練習の成果を発揮し、競い合うことができる大会が開
有 効 性 、	○ 向上余地がある	催されることで、文化活動の一層の振興が図られることから、
	向上余地がない	成果の向上の余地がある。
	事業費・人件費の削減余地	大会運営のための事業費は、必要最小限で計上されており、余
効率	事業費の削減余地がある	剰金も無いことから削減の余地は無い。
华性	人件費の削減余地がある	
1_	○ どちらも削減余地がない	
	受益と負担の適正化余地	中文連は市内全中学校で構成する組織であり、音コン等出場補
公平	受益機会の見直し余地がある	助の対象は「市内の児童生徒」であるため、受益機会は均等で
性	費用負担の見直し余地がある	ある。経費負担については、受益者負担金が主で、これに対し
1	○適正である	市が一定の割合で補助金を交付するものであり、均衡はとれて
糸	総合評価 …上記評価結果の総括	

発表の場を提供するなどの連盟の取り組み、また、コンクール等各種大会への出場に要する経 費に対し補助することで、児童生徒の文化活動が円滑に行われ、活動内容のさらなる飛躍、ひ

(新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)

補助件数=補助対象事業の実施件数(活動量)であるため。

いては児童生徒の情操教育の充実化に繋がることが期待される。

成果指標の達成度の要因分析

【 事後評価

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

I	会計	款	項		事業コード	事業名			
	一般	10	05	01	104400	学校文化活動事業費			

単位:千円

		28年度 決算額(A)	29年度 決算額(B)	30年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
	事業費	387	478		91
	国・県				
財源	地方債				
内訳	その他				
	一般財源	387	478		91

※特定財源の内訳

 事業期間 ○ 単年度繰返
 期間限定
 〔平成
 年度
 ~ 平成
 年度

部重点施策における目標

夢と希望をもち、たくましく生きぬく子ども達を育む学校教育の充実

事業開始の背景・経緯

児童生徒の豊かな情操を養う文化・芸術活動の役割が重要となってきた中、市内小中学校の文化活動の振興・発展のため、平成14年度に花巻市中学校文化連盟が組織され、事業を実施している。また、運動部の活動に係る助成制度との均衡も考慮し、活動の成果を発表する場である各種コンクール等への出場が円滑になされるよう、所要経費に対し補助する必要がある。

事業概要

- ○花巻市中学校文化連盟事業補助
- ○コンクール等出場補助

意見・要望等の状況(市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等)

担当部署 部名 教育部

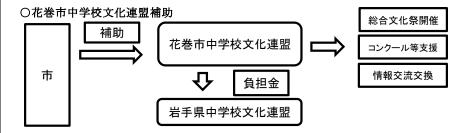
課名 学校教育課

担当係長 佐々木 祐子 内線 9-330-361

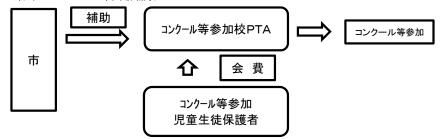
(単位:千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。 【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

【事業手法】



○音楽コンクール等出場補助



【事業費の内訳】

- ●事業費合計 4
- 478千円
- ①花巻市中学校文化連盟事業補助金 360千円
 - (1) 総合文化祭開催事業
 - 花巻市中学校総合文化祭の開催
 - 岩手県中学校総合文化祭への参加
 - (2) コンクール等支援事業
 - ・全日本吹奏楽コンクール中央地区大会
 - · 花巻市英語暗唱大会
 - ・全日本アンサンブルコンテスト岩手県花巻支部大会
 - (3) 情報交流交換事業
 - ・吹奏楽ふれあい交流事業
- ②音楽コンクール等事業補助金

118千円(5件)

地区予選等を経て岩手県、東北又は全国の音楽コンクール 等の大会に出場するために要する経費に対し補助